

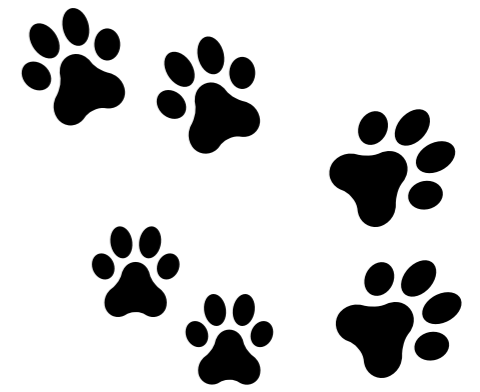


研究内容: 鹿の生態について

■ 概要

奈良女子大学界隈の鹿の生態を観察している。主に来ている群れはオスの集団であり、奈良女子大学の雑草を主食とする。

この群れの一年間の動きには規則があり、その研究を学部生のころから行ってきた。



■ 方法

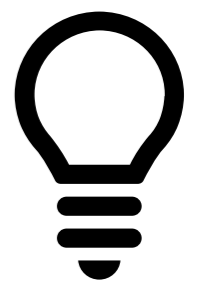
毎朝9時に大学の正門から講堂や体育館の方を回り、G棟から出てきたら記念館や池の周辺を観察する。最後にS棟の周辺を一周する。同様の観察を昼13時と夕方18時に行う。

また毎週水曜日は奈良公園近辺の鹿と東大寺周辺の鹿の観察を行い、奈良女子大学に来る鹿の群れとの違いを観察する。



■ これまででわかったこと

奈良女子大学に来る鹿は、奈良公園や東大寺周辺の鹿に比べて人慣れしていない傾向が見受けられる。また食べ物も雑草ばかりだからか、すっきりした体型である。

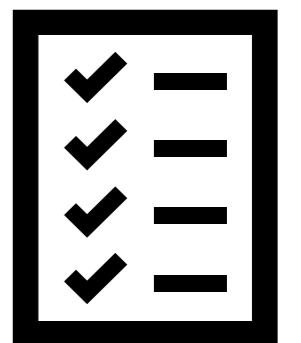


■ これからさらに研究したいこと

奈良女子大学に来る鹿の群れの最も大きな特徴は全て雄であるということである。またこの群れの構成はここ数年ほとんど変わったことはない。

このことから考えてみたいことは、鹿は人間に対して男女の見分けがつくのかどうかである。

またこれらの群れは繁殖期にどのような動きをするのかももう少し深く観察したい。可能であれば鹿愛護会の協力を得て、奈良女子大学に来る鹿の群れの行動追跡をしたいと思う。



- 博士課程に進んだ理由
鹿のプロフェッショナルになりたかったから
- 博士課程に進んで大変だなと思うこと
自分で勉強していかないといけないので、自己管理が大変
- 博士課程に進んでよかったこと
様々な研究機関の人と知り合えたり、そのような人たちと共通の話ができること。
- 博士課程に興味を持っている学生にかける言葉
博士課程は決して遠い存在のものではありません。学問の楽しさを博士課程でさらに極めませんか？